

長門市と萩市で2023年に確認された
イシドジョウ

後 藤 益 滋

「山口県の自然」第84号（2024年3月）別刷

山 口 県 立 山 口 博 物 館

長門市と萩市で2023年に確認されたイシドジョウ

後藤 益滋¹⁾

はじめに

イシドジョウ *Cobitis takatsuensis* Mizuno, 1970は、島根中西部、広島県太田川及び江の川以西から山口県、福岡県に分布し、清澄な河川の中、上流域に生息している。山口県内では、ほぼ全域で確認されているが（片山ら（1971）、藤岡（1977）（1991））、東部はその後調査でも確認例がなく（畑間ら（2009））、分布情報には検討の余地が残されている。

本種は、箱メガネ等で河床を覗くと、浮石や砂礫の表面にたたずんでいる姿を容易に観察できる。しかしながら、外敵が近づくと瞬時に逃避するため、捕獲が困難である。また、分布が限定されることや観賞用に捕獲される捕獲圧、災害等による生息地の荒廃で近年は生息数が減少していることもあり、環境省のレッドリストでは絶滅危惧IB類に、県レベルでは絶滅危惧IA類（山口県・福岡県）、絶滅危惧I類（CR+EN）（広島県・島根県）に指定されている（福岡県（2014）、島根県（2014）、山口県（2019）、広島県（2021））。

さらに、山口県では生息数の減少によって絶滅の恐れが大きくなったことから、希少野生動植物指定（2022年3月）となり、無許可の採取及び販売等が禁止となった（山口県（2022））。

今回、長門市の木屋川水系及び阿武川水系の一支流において本種を確認した。備忘録として本種の確認記録を残しておく。

確認状況

本種を確認した詳細な地点は明かとしませんが、確認した場所を以下に示す。

① 木屋川水系の上流（図1）

確認年月日：2023年8月6日 水温：26.7℃



図-1 木屋川水系の生息地（左：生息地の河床、右：本種）

1) MASUJI Goto 〒753-0031 山口市古熊1-6-4 (株)リクチコンサルタント環境生態分析室

当地は、まだ数多くの本種が生息しているため、観察は比較的容易である。同所にはカジカ *Cottus* sp.(中卵型か大卵型かは不明) やアカザ *Liobagrus reinii* species complex Clade 2 Hilgendorf, 1878 (Clade IIと思われる) などの冷水域を好む種も数多く生息している。かつては近辺の支川にも数多くの本種が確認されたが、近年の豪雨災害による河床荒廃や治山事業などによって生息地の破壊が進んでおり、まとまった数が確認できる最後の場所のひとつである。

② 阿武川水系の中流 (図2)

確認年月日：2023年9月18日 水温：23.1℃



図-2 阿武川水系の生息地(左：生息地の河床、右：本種)

当地は、萩市の旧むつみ村と旧福栄村の境界付近の河川である。本種を取り損ねてしまったため、生息地の写真のみを掲載する。

参考文献

- 片山正夫・藤岡 豊 (1971) 山口県の淡水魚類. 山口大学教育学部研究論叢, 21: pp73-97.
- 藤岡豊 (1977) 山口県におけるシマドジョウ属魚類の分布. 山口大学教育学部研究論叢, 26: pp213-216.
- 藤岡豊 (1991) 山口のさかな. 藤岡豊教授退官記念誌, pp153. 藤岡豊教授退官記念事業会.
- 畑間俊弘・大橋 裕 (2009) 山口県の内水面における魚類および十脚甲殻類の分布 (1). 山口県水産研究センター研究報告, 7: pp19-61.
- 福岡県 (2014) 福岡県レッドデータブック2014, 福岡県の希少野生生物: pp43, 福岡県自然環境課
- 島根県 (2014) 島根レッドデータブック, イシドジョウ: pp83, 島根県自然保護課.
- 山口県 (2019) レッドデータブックやまぐち2019: pp206, 山口県自然保護課.
- 広島県 (2021) 広島県の絶滅のおそれのある野生生物 (第4版), レッドデータブックひろしま2021: pp154, 広島県自然環境課.
- 山口県 (2022) 希少野生動植物リーフレット, イシドジョウ: 山口県環境生活部 自然保護課.